

# 基本理念・構想

社協が目指すべき活動の方向性を踏まえ、対馬市社協のあるべき姿を基本構想として示すものです。



## 基本理念

### 『誰もが安心して幸せに暮らすことができる福祉の対馬<sup>しま</sup>づくり』 ～市民に信頼される社協をめざして～

対馬市社協は、平成21年3月に策定された「対馬市地域福祉活動計画」を基本とし、市民並びにあらゆる関係者、関係機関の参加と協働のもと、地域福祉活動を推進することにより、「誰もが安心して幸せに暮らすことができる福祉の対馬<sup>しま</sup>づくり」の実現にむけた活動を展開し、市民から期待され信頼される対馬市社協をめざします。

ふだんの  
くらしの  
しあわせ



## 基本構想

近年、少子・高齢化が急激に進行するとともに、世界的な経済不況の影響、あるいは、地方分権や三位一体改革による地方行政の財政状況の悪化等の影響を受け、住民の生活環境の変化に伴い、福祉ニーズは、多種・多様化の一途をたどっております。特に対馬地域におきましては、地元業者等の倒産が相次ぎ、働き盛りの若い世代の人たちが雇用の場を求め島外に流出し、過疎化が進行、高齢者のみ世帯が急増している中で、誰もが安心して幸せに暮らすことができる地域社会を実現するためには、市民や関係者がお互いに手を取り合った協働による「地域福祉活動」が重要となってきます。

このような現状を踏まえ、社協は地域福祉を推進する団体として、小地域での福祉課題やニーズの掘り起こしを行い、市民主体に基づいた社協活動の展開が必要となります。

対馬市社協は、対馬市により策定された行政計画である「対馬市地域福祉計画」及び「対馬市市民協働（共働）推進指針」並びに昨年度本会が中心になって策定された市民の活動計画である「対馬市地域福祉活動計画」と連携し、地域福祉を推進する団体として、対馬市社協のあるべき姿の再確認を行いながら、社協活動の強化及びそのための社協基盤の強化を計画的に行うことにより基本理念である「誰もが安心して幸せに暮らすことのできる福祉の対馬づくり」の実現をめざします。

### 基本理念実現のための対馬市社協の重点目標

- ①小地域での福祉課題・ニーズの発掘のための相談事業等生活支援体制の強化
- ②福祉人材の確保と資質向上の推進
- ③市民活動・ボランティア活動の推進・支援
- ④市民参加と協働のためのネットワークの構築
- ⑤関係機関・団体との連携強化と連絡調整機能の充実
- ⑥社協らしい在宅福祉サービス活動の検討
- ⑦対馬市社協の財政基盤・組織・事務局体制の強化



## 地域福祉推進のための体系

